



令和元年 8 月 13 日	
所 属	文化振興担当
所属長	松長 昌男
電 話	06-6489-6385

尼崎城から幽玄の世界へ 「尼崎城薪能」を開催します！

1 趣旨


本市では、昭和 55 年から、大物川緑地公園野外能舞台において「尼崎薪能」、富松神社境内において「富松薪能」を開催しており、能楽「船弁慶」ゆかりの地として親しまれています。

長年親しまれている伝統芸能である薪能を、今年、平成 31 年 3 月 29 日に一般公開された尼崎城において、野外舞台を特設し中秋の名月である 9 月 13 日に「尼崎城薪能」を開催いたします。

薪能では、能楽「葵上」の他、尼崎こども能楽教室で日々練習に励む地域の子どもたちも出演します。この機会にみなさまぜひ、幽玄の世界をご堪能ください。

なお、当日は尼崎城の営業時間を午後 10 時まで（入場は午後 9 時 30 分まで）延長いたしますので、併せてお楽しみください。（薪能が雨天中止の場合、尼崎城の営業時間は 17 時までとなります。）

2 開催内容

- (1) 公演名 尼崎城薪能
- (2) 日 時 令和元年 9 月 13 日（金） 17：30 開演
- (3) 入場料 無料
- (4) 会 場 尼崎城野外能舞台
- (5) 番 組 尼崎こども能楽教室
素謡すうたい かみうた：神歌
仕舞：笠之段・梅・船弁慶
火入れ式
能楽「葵上」
附祝言
- (6) 主 催 尼崎市・（公財）尼崎市文化振興財団・（一社）あまがさき観光局・尼崎能楽会
- (7) 後 援 阪神電気鉄道株式会社・阪神バス株式会社・尼崎交通事業振興株式会社
- (8) 助 成 令和元年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業 

以 上

[Amagasaki Castle
Takiginoh Performance]

“Noh AOINOUE”

日時 令和元年 9月13日(金)

17:30開演 雨天中止

会場 尼崎城野外能舞台 (阪神尼崎駅徒歩5分)
兵庫県尼崎市北城内27

Friday September 13, 2019 5:30p.m – 8:30p.m

It will be canceled in case of rain.

at Amagasaki Castle Noh Stage (27,kitajounai Amagasaki Hyogo)

尼崎城新能に合わせて特別営業します。

午前9時～午後10時 (入場は午後9時30分まで)

入場無料
Admission Free



お越しの際は阪神電車(阪神バス)をご利用ください。

薪能 尼崎城

〈番組〉

尼崎こども能楽教室

素謡 神歌

仕舞 笠之段

梅

船弁慶

火入れ式

能楽 『葵上』

附祝言



ウシマド写真工房提供

【お問い合わせ先】

公益財団法人 尼崎市文化振興財団
TEL. 06-6487-0910

主催 = 尼崎市・(公財)尼崎市文化振興財団・(一社)あまがさき観光局・尼崎能楽会
後援 = 阪神電鉄株式会社・阪神バス株式会社・尼崎交通事業振興株式会社

尼崎城薪能番組

令和元年九月十三日（金） 午後五時三十分始め

尼崎こども能楽教室

休憩

素謡

神歌

山村 啓雄 吉井 紹智

地謡

上田 顕崇
今村 哲朗
大西 礼久
林本 大

仕舞

笠之段 梅若 堯之

梅 上田 貴弘

船弁慶 梅若 基徳

地謡

上田 顕崇
寺澤 幸祐
山村 啓雄
上田 宜照

火入れ式

能

笠田 祐樹

吉井 基晴

葵

上

梓之出 福王 知登
喜多 雅人

山本 哲也
古田 知英

中田 弘美
赤井 啓三

間 善竹 忠亮

後見 林本 大
大西 礼久
地謡 今村 哲朗
寺澤 幸祐

梅若 堯之
上田 貴弘
梅若 基徳

附祝言

解説

能【葵上】 あおいのうえ

朱雀院に仕える臣下が葵上の病因を知るために巫女に梓の法を行わせると、梓の弓の音にひかれて貴婦人が現れる。さめざめと涙を流す女の名を尋ねると六条御息所の怨霊と名のり、恨みごとを述べる。御息所は、皇太子妃として華やかな宮廷生活を送った身だったが、夫に先立たれたのち、光源氏と親しくなった。ところが、近ごろ光源氏との仲が遠ざかり、顧みる人さえなくなったさびしさを述べ、光源氏の愛を奪った葵上を恨む。自分の心境をくどくどと述べるうちに悔しさは高まり、御息所の霊は葵上の枕にせまり、打ちたたきなどするが、のろいを残して姿を消す。葵上の容体の急変に、横川小聖が呼ばれ、祈祷が行われる。御息所の霊は鬼相をなして現れ小聖に立ち向かうが、ついに祈り伏せられる。

Noh Play: Aoi-no-Ue

One of the courtiers of the former emperor *Suzakuin* hires a priestess to identify a cause of illness that *Aoi-no-Ue*, who is a wife of *Suzakuin*'s brother *Hikaru Genji*, suffers. When the priestess conducts an evocation ritual called *Azusa's Measure* that uses a bow named *Azusa*, the sound of strings plucked by the priestess attracts a noble lady, and the lady suddenly appears before them. The lady tells that she is the ghost of *Rokujo-miyasu-dokoro* and begins weeping and expressing her rancor against *Aoi-no-Ue*. Although *Rokujo* used to enjoy a glamorous life as the crown princess in the palace, she lost her spouse. After her husband's death, she fell in love with *Hikaru Genji*; however, he drifted away from *Rokujo* gradually. She felt loneliness because there was no one she could care for anymore, therefore, she has rancorous feelings against *Aoi-no-Ue* who *Rokujo* thinks stole *Hikaru Genji* from her. *Rokujo*'s jealous feelings gradually grow further as she describes how miserable she is. The ghost moves in on *Aoi-no-Ue* lying on a bed and beats her. *Rokujo* disappears after putting a curse on *Aoi-no-Ue*. Following changes in *Aoi-no-Ue*'s health condition, an exorcist *Yokokawa-no-Kohijiri* is invited to banish the ghost with his prayer. The ghost of *Rokujo* appears again with a fierce face like a demon and tries to attack *Kohijiri*, but she eventually loses to his prayer.

翻訳：M.Sakurai

能剧【葵上】

隶属朱雀院的侍臣为了查明主君葵上的病因，请巫女施展梓木之法。受到梓木弓的弦音吸引，一位双目流泪的贵妇现身出来。她自称是六条御息所的怨灵，诉说了自己的怨恨。御息所作为皇太子妃在宫廷中度过了奢华的一生，从夫君死后，她开始与光源氏亲近起来。但是最近光源氏对她逐渐变得疏远，甚至连身边的侍臣也都离去，由此御息所恨上了夺走光源氏宠爱的葵上。随着喋喋不休的诉说，御息所怨灵的愤恨之情开始高涨，她甚至逼近到葵上的枕边，试图捶打葵上，最后她降下诅咒便消失了。葵上的病情急剧恶化，横川小圣被请来实施祈祷驱邪，御息所怨灵现身化作恶鬼扑向横川小圣，一番争斗后御息所怨灵败伏在祈咒之下。

翻訳：張 恒治